

現場を見て、体験して砂防を学ぶ

～キャンプ砂防 in 近畿2014～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

山間地域における防災対策の現場体験と、砂防の意義・役割を学んでいただくために、「キャンプ砂防 in 近畿2014」を開催しました。

7月28日～8月1日にわたり、木津川砂防、紀伊山地砂防、六甲砂防のそれぞれの砂防事業の特徴について、学んでいただきました。

概要

日時：平成26年7月31日（木）～8月1日（金）

〔六甲砂防事務所での体験期間〕

場所：六甲砂防事務所、二の谷東第二えん堤工事（二の谷川上流）など

参加人数：2名



二の谷東第二えん堤工事

○六甲山地の砂防事業を体感する

砂防えん堤の工事現場では、急峻な地形のため索道（ケーブルクレーン）を使っていることや、砂防えん堤のすぐ下に住宅地や鉄道などの交通網が集まっている地域で事業を行っていることを説明しました。カシノナガキクイムシによるナラ枯れの現場調査では、市街地の近くでの土砂災害に寄与する樹林を守るための取り組みについて説明し、作業を体験していただきました。



閉講式



ナラ枯れ現場調査

1
日
目
（
7
月
3
1
日
）



鉢伏堺川えん堤補強工事



小型水路実験

2
日
目
（
8
月
1
日
）

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535



六甲山地の砂防事業が、住宅地と山が近い都市砂防であることや、砂防事業が地域と密着していることなどを感じていただけたようでした。